



九電工がボランティアで木を伐採

■10月25日、㈱九電工がボランティアで片平山公園のカナリーヤシの剪定作業を行いました。同社は毎年、市内の公園の剪定作業をボランティアで行っています。



第4回枕崎カツオマイスター検定

■11月1日から2日間にわたり開催され、全国から57人が受検しました。受検者は、カツオのさばき方や昆布と鰹節の出汁取りに挑戦したほか、座学でカツオの生体などについて学び、検定に臨みました。



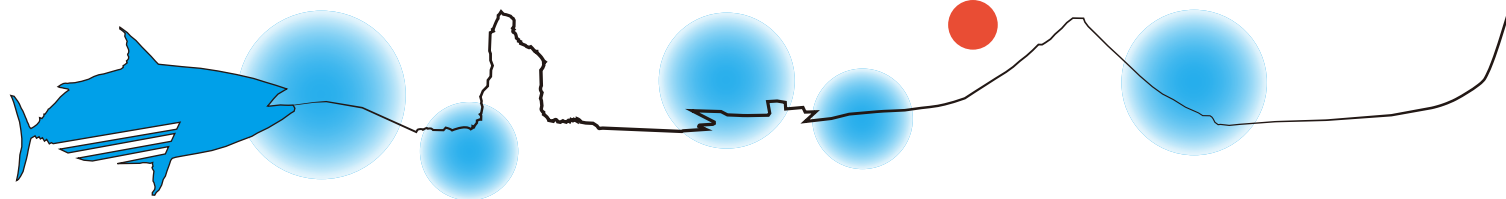
キャンドルフェスタ2014

■11月2日、枕崎商工会議所青年部主催で、市役所通りで開催されました。来場者は、キャンドルのやさしい灯に心癒されていました。



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

■11月1日～7日の期間に合わせて、市内小中学校ではさまざまな取り組みが行われ、一般公開されました。11日には桜山小学校の6年生が、水産加工業協同組合職員を講師に、昆布と鰹節の出汁の取り方を学びました。



火の神乙女太鼓 県大会5連覇 ～第17回日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県大会～

日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県大会が10月19日、霧島市で開催され、火の神乙女太鼓が5連覇を達成し、来年3月に長野県で開催される全国大会への出場を決めました。全国大会への出場は6年連続7回目になります。

リーダーの小村凌くん(水産高校2年)は「今回も優勝して全国大会に出場できるのは、市民の皆さんの応援のおかげだと思っています。今回もいい結果を残せるように、自分自身に打ち勝って最高の演奏をします」と話していました。

全国大会前の3月1日には、市民会館で全国大会出場壮行会(和太鼓コンサート)が開催される予定です。



さまざまな文化に触れる ～第48回枕崎市総合文化祭～

第48回枕崎市総合文化祭が、10月25日から11月3日までの期間で開催されました。

展示部門では、生花や絵画、書道などの作品が市民会館と南浜館に数多く展示されました。

また、3日に行われた市民芸能祭では、36団体が出演し、日本舞踊やフラダンス、さまざまな楽器の演奏などを披露。プログラムの最後には、津軽三味線全国大会in K O B E 優勝者の石井秀岱氏(鹿児島県出身)による津軽三味線の演奏があり、来場者は石井氏の迫力ある演奏に魅了されていました。



①大会であいさつをする神園征市長 ②県茶品評会入賞者表彰式 ③会場は多くの来場者でにぎわう ④お茶の淹れ方教室 ⑤お茶で一息つく図書館来館者

第61回関東枕崎会総会を開催 ～投稿者：関東枕崎会

投稿

10月12日、第61回関東枕崎会総会・望郷の集いが東京で開催されました。186人の参加者が集まり、盛大に、にぎやかに開催されました。

「故郷枕崎からあこがれの東京へ、志を胸に潜めて苦しくても歯をくいしばり耐えてきた」、「故郷があるから頑張れた」そんな想いを胸に参加された方々が多く見られました。故郷枕崎のぶえん鰹の刺身やさつま揚げ、こが焼きなど、田舎の味に舌鼓を打ちながら、老いも若きも時を忘れて懐かしい枕崎を思い出し、笑い涙しながら楽しい時間を過ごしました。

「また来年ここで元気に会いましょう」を合言葉に閉会となりました。



枕崎茶のさらなる活性化へ

～平成26年度鹿児島県茶業振興大会「かごしまお茶まつり枕崎大会」

11月9日、鹿児島県茶業振興大会「かごしまお茶まつり枕崎大会」が、枕崎漁港内港と南薩地域地場産業振興センターで開催され、約15,000人の人でにぎわいました。

会場では特産品の販売や百円茶屋などたくさんの出展ブースが並び、ステージでは県茶品評会入賞者の表彰式やラジオの公開生放送、大抽選会などがあつたほか、小学生を対象にしたおいしいお茶の淹れ方教室やかごしま茶なんでも講座などが行われました。

また、お茶まつりを違う場所でも盛り上げようと、市立図書館では、10月28日から11月16日の読書週間の期間中、お茶をテーマにした本の展示が行われました。同期間中の土・日曜日には、お茶をたくさんの人に飲んでもらおうと、お茶の振る舞いが行われ、来館者はお茶でホットと一息ついていました。



枕崎茶を使ったお風呂が登場 ～ひとつ風呂「まく茶風呂」

東本町のひとつ風呂(尙枕崎温泉)が、11月9日から「まく茶風呂」をスタートさせました。風呂には、枕崎茶が100%使用されており、お茶に含まれるカテキンなどの成分による殺菌作用や保温・保湿、リフレッシュなどの効果があるそうです。この「まく茶風呂」は、県から経営革新計画の承認を受けた事業でもあり、今回「茶業」と「浴場」の異業種交流による企業連携と地元の観光振興を目標に実施されています。

社長の朝田進さんは「地元への貢献と経営の向上を両立させる新しい取り組みを模索してきました。地元の特産品である枕崎茶を観光資源としたこの取り組みが、枕崎茶のPRと観光産業への活性化につながってほしいです」と話していました。